

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	龍門文庫蔵『佛説観無量壽經』翻刻
Author(s)	佐々木, 勇
Citation	比治山女子短期大学紀要 : Bulletin of Hijiya Women's Junior College , 25 : 15 - 30
Issue Date	1991-03-20
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00025484
Right	
Relation	



龍門文庫蔵『佛説觀無量壽經』翻刻

佐々木 勇
(国文科)

一、はじめに

『佛説觀無量壽經』一卷は、宋の元嘉の時に活躍した甌良耶舎の漢訳経である。わが国では、浄土教諸宗の根本經典である『浄土三部經』の一部として、奈良時代以来重視されてきた。記録に残るものとしては、天平十四年(七四二)七月二十四日の「装演本經充帳」(正倉院文書)にその名が記されているのが古いようであるが、天平年間には、その経疏(善導撰)が書写されている。(石田茂作『写経より見たる奈良朝仏教の研究』参照)

龍門文庫蔵『佛説觀無量壽經』は、鎌倉時代中期の版本であり、本紀要前号で紹介した『佛説阿彌陀經』と、『佛説無量壽經』の二部と共に『浄土三部經』として傳存している。『浄土三部經』の版本で完存するものとしては、最古のものの中の一本である(藤堂祐範『浄土教版の研究』図版第三二のものと同版かと思われる)。

この龍門文庫本には、きわめて詳しい訓点が付点されている。本号で翻刻する『佛説觀無量壽經』の訓点は、『佛説阿彌陀經』のものと同筆であ

り、鎌倉時代後期頃に加付されたものと思われる。しかし、音注の内容は、鎌倉時代初期頃の日本漢字音の実態に一致するものが多く、移点の際の誤写と思われる箇所がしばしば見られることから、鎌倉後期は移点の時期であることが知られる。

尚、本資料の訓点については、「龍門文庫蔵『浄土三部經』について——『阿彌陀經』『觀無量壽經』を中心に——」(鎌倉時代語研究)第十三輯、1990年)で若干の考察を加えている。参照の上、本紀要前号「龍門文庫蔵『佛説阿彌陀經』翻刻並びに漢字索引」と併せてご活用頂ければ幸いである。

二、翻刻

△凡例▽

1、この翻刻は、龍門文庫蔵『浄土三部經』(二ノ八)の内、『佛説觀無量壽經』を底本として、その全文(但し外題を除く)を記したものである。

2、底本の声点は、印刷の都合上、声点加字の右下に(平)(上濁)のごとくに記した。(昆)は、昆不羅声、(フ入)は、フ入声である。
3、以下細かな点については、前号の凡例に準ずる。

- 1 「佛(入濁) 説觀 無量壽(平濁) 經 宋 元 嘉 中 薑 良 耶 舍 譯
- 2 「如(平濁) 我(平濁) 聞(平濁) 一 時(上濁) 佛(入濁) 在(平濁) 王 舍 城(去濁) 著(去濁)
- 3 開 峯 山 中(上濁) 與(平濁) 大(平濁) 比(平濁) 丘 衆(平濁) 千 二 百 五 十(入濁) 十(入濁) 人 俱
- 4 (上濁) 善(上濁) 薩 三 万 二 千(平濁) 文 殊(上濁) 師 利 法 王 子(平濁) 而 爲 上(平濁)
- 5 首(平濁) 余 時(上濁) 王 舍 大(平濁) 城(去濁) 有 一 太 子(平濁) 名 阿 闍(上濁) 世(平濁) 隨(去濁)
- 6 順(入濁) 調(去濁) 達(入濁) 惡 友 之 教(平濁) 収(入濁) 父(平濁) 王(平濁) 頻(去濁) 婆(上濁) 娑
- 7 羅 幽 閉 置 於(上濁) 七 重(去濁) 室 內(平濁) 制 諸(平濁) 群 臣(平濁) 一 不 得 往(去濁) 國 大(平濁) 夫(上濁)
- 8 人(平濁) 名 韋 提(上濁) 希(去濁) 恭 敬(平濁) 大(平濁) 王(平濁) 澡 浴 清 淨(平濁) 以 蘇
- 9 蜜 和 鈔(去濁) 用 塗(上濁) 其(上濁) 身(平濁) 諸 瓔 珞(中(上濁) 盛(去濁) 蒲 桃(平濁) 漿(上濁)
- 10 密 以 上(平濁) 王(平濁) 余 時(上濁) 大(平濁) 王(平濁) 食(入濁) 妙 飲 漿(去濁) 求 水 漱(平濁)
- 11 口(平濁) 漱(平濁) 口 畢 已(平濁) 合(入濁) 掌 恭 敬(平濁) 向 耆(去濁) 闍(上濁) 山(平濁) 遙 禮 世
- 12 尊(平濁) 而 作(平濁) 是(平濁) 言(去濁) 大(平濁) 目 捷 連(平濁) 是(平濁) 吾(平濁) 親 友(平濁) 願(平濁)
- 13 興 慈(去濁) 悲(平濁) 授(平濁) 我(平濁) 八 戒(時(上濁) 目 捷 連(平濁) 如 鷹 隼(上濁) 飛(平濁) 疾 至
- 14 「王 所(平濁) 日 日 如(平濁) 授(平濁) 王 八 戒(平濁) 世 尊 亦 遣(平濁) 尊 者(平濁) 富 樓 那

- 15 爲 王 説 法(平濁) 如 是(平濁) 時(去濁) 間(平濁) 三 七 日(平濁) 王 食(平濁) 妙(平濁) 蜜 得 聞 法
- 16 (入濁) 故(去濁) 顔(去濁) 色(入濁) 和 悅(去濁) 時(去濁) 阿 闍(上濁) 世(平濁) 問 守 門 者(平濁)
- 17 大(平濁) 王(平濁) 國(平濁) 夫(上濁) 人(平濁) 身 塗(上濁) 妙 蜜(平濁) 瓔 珞 盛(去濁) 漿(去濁) 持
- 18 (上濁) 用(上濁) 王 沙 門(平濁) 目 捷 連(平濁) 及(平濁) 富 樓 那(平濁) 從(去濁) 空(上濁) 而 來(平濁)
- 19 爲 王 説 法(平濁) 不 可 禁(去濁) 時(上濁) 阿 闍(上濁) 世(平濁) 聞 此 語(平濁) 已(平濁) 怒
- 20 其(上濁) 母 曰(平濁) 我(平濁) 母 是(平濁) 賦(入濁) 與 賦 爲 伴(平濁) 沙 門 惡 人(平濁) 幻
- 21 (去濁) 惡 咒 術(入濁) 令 此 惡 王(平濁) 多(平濁) 日 不 死(平濁) 卽 執 利 劍(平濁) 欲 害(平濁) 其(去濁)
- 22 母 時(上濁) 有 一 臣(去濁) 名 曰(平濁) 月(入濁) 光(平濁) 聰 明 多 智(平濁) 及(入濁) 與
- 23 耆(去濁) 婆(上濁) 爲 王 作 禮(平濁) 白 言 大(平濁) 王(平濁) 臣(去濁) 聞 毗(上濁) 陀(上濁) 論 經
- 24 (上濁) 説(平濁) 劫 初 已 來(平濁) 有 諸 惡 王 貪(平濁) 國(入濁) 位 故(平濁) 致 害(平濁) 其(去濁) 父
- 25 (平濁) 一 万 八 千(平濁) 未 曾(去濁) 聞 有(平濁) 無 道(平濁) 害(平濁) 母(平濁) 王 今 爲 此(平濁)
- 26 致 逆(入濁) 之 事(平濁) 汙 刹 利(平濁) 種(平濁) 臣(去濁) 不 忍(平濁) 聞(平濁) 是(平濁) 悔 陀(上濁) 羅
- 27 不 宜(上濁) 住(平濁) 此(平濁) 時(上濁) 二 天(平濁) 臣(去濁) 説 此 語(平濁) 竟(平濁) 「以 手
- 28 探 劍(平濁) 却(平濁) 行(平濁) 而 退(平濁) 時(上濁) 阿 闍(上濁) 世(平濁) 驚 怖 惶 懼(平濁) 告(平濁) 「耆
- 29 (去濁) 婆(上濁) 言(上濁) 汝 不 爲 我(平濁) 耶(平濁) 耆(去濁) 婆(上濁) 白(入濁) 言(去濁) 大
- 30 (平濁) 王 慎 莫(平濁) 害(平濁) 母(平濁) 王 聞 此 語(平濁) 懺 悔 求(去濁) 救(平濁) 卽 便(去濁) 捨

30 劍・止不害(平)母・一勅語(平)內官・閉置深(去)宮(上新)・不令復(平)出・時(去)章提(上)希・被(去)幽閉已・愁憂憔悴・遙向者(去)闍(平)嶺山・爲佛作禮・「而作是(平)言(去)・如來世尊・在(平)昔之時(上)恒(去)遣阿難・來(去)慰問我(平)・我(平)今愁憂・世尊(去)感重(平)・無由得見・願(平)遣(去)目連・尊者(平)阿難・與我(平)相見・作是(平)語(平)已・悲泣兩(去)淚・遙向佛(入)禮・未舉頭(上)頃・尔時(上)世尊・在(平)者(去)闍嶺山・知章提希・心之(上新)所念・卽勅大(平)目健連・及(入)以(去)阿難・從(去)空(上新)而來・佛從(去)者(去)闍嶺山・沒於王宮(上新)出・「時(上)章提希・禮已舉頭(上)見世尊釋迦牟尼佛(入)身・「紫金色(入)坐百寶蓮華(上新)・目連侍(平)左・阿難在(平)右・釋(去)梵護(平)世・諸天在(平)虛空中(上新)・普雨天華(上新)・持(去)用供養・「時(去)章提(上)希・見佛(入)世尊・自(平)絕(入)瓔珞・舉身投地(平)・蹄(平)泣向佛(入)・白(入)言(去)世尊・我(平)宿何(上)罪(平)・生(去)此惡子・世尊(去)復有・何(上)等因緣・與提(去)婆(上新)達(入)多・共(平)爲眷屬(入)・唯願(去)世尊・爲我(平)廣(入)說(入)無憂惱處(平)・我(平)當往生(去)不樂(平)閻浮(上新)提(上)・濁(入)惡世也・此濁(入)惡處・地(平)獄餓(平)鬼・畜

45 我(平)廣(入)說(入)無憂惱處(平)・我(平)當往生(去)不樂(平)閻浮(上新)提(上)・濁(入)惡世也・此濁(入)惡處・地(平)獄餓(平)鬼・畜
46 生盈(去)滿・多不善(平)聚(平)願(平)我未來・不聞惡聲・不見惡人
47 今向世尊・五(平)體投地(平)求(去)哀憐悔(平)唯願(平)佛(入)淨日・教(去)我(平)觀於(去)清淨(平)業處・尔時(上)世尊・放眉間光
48 其(去)光(去)金色(入)遍照(去)方(去)無量世界・還(去)住(平)佛(入)頂・化爲金(去)臺(上)・如須弥山・十(入)方諸佛(入)淨(平)妙國土(平)・皆於中現(平)・或有國土(平)・七寶合(入)成・復(平)有國土(平)・純是(平)蓮華(上新)・復(平)有國土(平)・如自(上)在(平)天(去)宮(上新)・復(平)有國土(平)・如頗梨鏡・十(入)方國土(平)皆於中現(平)・有如是(平)等・无量諸佛(入)國土(去)嚴(去)顯可觀
49 令章提(上)希見・時(去)章提(去)希・白(入)佛(入)言(去)世尊・是(平)諸佛(入)土(平)・雖復(平)清淨・皆有光(明)・我(平)今樂(平)生(去)極(入)樂世界・阿弥陀(上)佛(入)所・唯願(平)世尊・教(去)我(平)思惟・「教(去)我(平)正(去)受(平)・尔時(上)世尊・即便(去)微笑
50 有五(平)色光(去)從(去)佛(入)口出・一一(去)光照(去)類(去)婆(上新)・有(平)羅頂・尔時(上)大王(去)雖(在(平)幽閉)・心眼(平)无(去)翳・遙見世
51 尊・頭(上)面作禮・自(平)然(去)增(去)進(去)成(去)阿那含(上)・尔時
52 世尊・告(平)章提(上)希・汝今知(上新)不(去)阿弥陀(上)佛(入)去
53 尊・是(平)諸佛(入)土(平)・雖復(平)清淨・皆有光(明)・我(平)今樂(平)生(去)極(入)樂世界・阿弥陀(上)佛(入)所・唯願(平)世尊・教(去)我(平)思惟・「教(去)我(平)正(去)受(平)・尔時(上)世尊・即便(去)微笑
54 有五(平)色光(去)從(去)佛(入)口出・一一(去)光照(去)類(去)婆(上新)・有(平)羅頂・尔時(上)大王(去)雖(在(平)幽閉)・心眼(平)无(去)翳・遙見世
55 尊・頭(上)面作禮・自(平)然(去)增(去)進(去)成(去)阿那含(上)・尔時
56 世尊・告(平)章提(上)希・汝今知(上新)不(去)阿弥陀(上)佛(入)去
57 尊・是(平)諸佛(入)土(平)・雖復(平)清淨・皆有光(明)・我(平)今樂(平)生(去)極(入)樂世界・阿弥陀(上)佛(入)所・唯願(平)世尊・教(去)我(平)思惟・「教(去)我(平)正(去)受(平)・尔時(上)世尊・即便(去)微笑
58 有五(平)色光(去)從(去)佛(入)口出・一一(去)光照(去)類(去)婆(上新)・有(平)羅頂・尔時(上)大王(去)雖(在(平)幽閉)・心眼(平)无(去)翳・遙見世
59 尊・頭(上)面作禮・自(平)然(去)增(去)進(去)成(去)阿那含(上)・尔時
60 世尊・告(平)章提(上)希・汝今知(上新)不(去)阿弥陀(上)佛(入)去
61 尊・是(平)諸佛(入)土(平)・雖復(平)清淨・皆有光(明)・我(平)今樂(平)生(去)極(入)樂世界・阿弥陀(上)佛(入)所・唯願(平)世尊・教(去)我(平)思惟・「教(去)我(平)正(去)受(平)・尔時(上)世尊・即便(去)微笑

- 62 「此不遠・汝當繫念・諦觀彼國・淨業入滅・成者・我今
 63・64 「爲汝・廣說衆賢・亦令未來世・一切凡夫・欲修
 淨業入滅者・得入生西方極樂國土・欲生彼國者・當
 修三福・一者孝養父母・奉事師長・慈心不致・心
 修十善業・二者受持三歸・具足衆戒・
 66 不犯過威儀・三者受持三歸・具足衆戒・
 67 淨・讀入滅論・大業乘・勸進新業・如此三
 68 事・名爲淨業・佛告・希・汝今知上
 69 新業不・此三種業・過去未來現在三世・諸佛入滅
 70・71 淨業・業入正因・佛告・阿難・及希
 72 諦聽諦聽・善思念之・新業・如來今者・爲未來世・一切衆生
 73 善哉・爲煩惱・之所・害者・說清淨業入滅
 74 善哉・爲煩惱・之所・害者・說清淨業入滅
 75 爲多衆・宣說入滅佛・如來今者・新業・教・希及
 76 入滅未來世・一切衆生・觀於西方・極樂世界・以佛入滅
 77 力故・當得見彼・清淨國土・如執明鏡・
 自見・見彼・見彼・國土・極妙樂事・心歡喜
 78 故・應時・即得・无生法・佛告・韋提
 79 希・汝是凡夫・心想・新業・未得天眼・不能
 80 遠觀・諸佛・如來・有異方便・令汝得見・時・提
 81 入滅希・白佛・言・世尊・如我・今者・以佛力
 82 故・見彼新業國土・若佛・滅後・諸衆・生等・滅
 83 入滅惡不善業・五苦所逼・云何當見・阿彌陀上
 84 極樂世界・佛告・希・汝及衆生・應當專心
 85 新業・繫念一處・想於西方・云何新業・作想・凡作
 86 一切衆生・自非生盲・有目之徒・皆見日沒・當起想念
 87 正坐・向西向・諦觀於日・令心堅住・專想不移
 88 見日欲沒・狀如懸鼓・既見日沒・閉目開目・皆令明了
 89・90 「是爲日想・名曰初觀・次作水想・見水澄清・亦令明
 了・无分・散意・既見水已・當起米想・見米・映徹作琉璃想
 91 此想成已・見琉璃地・內外映徹・下有金剛・七寶
 92 金・幢・擎琉璃地・其幢八方・八楞具足・一一
 93 方面・百寶所成・一一寶珠・有千光明・一一光明・八
 94 方・百千色・映琉璃地・如億千日・不可具見・琉璃地
 95・96 方・百千色・映琉璃地・如億千日・不可具見・琉璃地

- 129 之(平新濁)・觀見樹(平濁)莖・枝葉「華菓・皆令分明」是爲樹(平濁)想・名
 130 第(平濁)四(平濁)觀「次當想水・想水者・極(平濁)樂國土(平濁)・有八池水・一
 一「池水・七寶所成(去濁)・其(去濁)寶柔濡・從(去濁)如意珠王生・分(去
 131 濁)爲十(入濁)四支・一一支作七寶色・黃金(平濁)爲渠・渠下(平濁)皆
 132 以・雜(入濁)色金剛(上濁)・以爲底沙(上濁)・一一水中・有六十(入濁)億・
 七寶蓮華(上濁)・一一蓮華(上濁)・圓(平濁)圓正等(平濁)・十(入濁)二由旬(上
 133 濁)・「其(去濁)摩尼水・流注華間・尋(去濁)樹(平濁)上(平濁)下(平濁)・其(去濁)
 134 聲微妙・演「說(入新濁)苦空・無常(上濁)无我(平濁)・諸波羅蜜・復(平濁)有
 135 讚嘆(平新濁)・諸佛(入濁)相好(平新濁)者・如意珠王・涌出(入新濁)金色(入新濁)・
 136 微妙光明・其(去濁)光「化爲・百寶色鳥・和鳴哀雅(上濁)・常(去濁)讚
 137 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 138 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 139 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 140 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 141 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 142 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 143 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 144 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 145 念佛(入濁)念法念「僧・是(平濁)爲八功德(入新濁)水想・名第(平濁)五(上濁)觀
 146 命・終(去濁)之後(平濁)・「必生彼國・作是(平濁)觀者(平新濁)・名爲
 147 正(平濁)觀(平濁)・若他觀者(平新濁)・名「爲邪(上濁)觀・「佛(入濁)告(平濁)阿難
 148 及(入濁)章提(上濁)希・諦聽・諦聽・善(平濁)思念之(平新濁)・佛(入濁)「當爲
 149 汝・分別(入濁)解(平濁)說・除(去濁)苦惱法(入新濁)・汝等憶持(上濁)・廣爲「
 150 大(平濁)衆・分別(入濁)解(平濁)說・說是(平濁)語(平濁)時(上濁)・无量壽(平濁)
 151 佛(入濁)・住(平濁)立空「中(上新濁)・觀世(平新濁)音・大(平濁)勢至・是(平濁)二
 152 大(平濁)士・侍(平濁)立左右・光明「熾盛(去濁)・不可具(平濁)見・百千閻
 153 浮檀(上濁)金(入新濁)色(入新濁)・不得爲比・「時(去濁)章提(上濁)希・見无量
 154 壽(平濁)佛(入濁)已・接足作禮・白(入濁)佛(入濁)言(去濁)「世尊・我(平濁)今因
 155 佛(入濁)力故・得見无量壽(平濁)佛(入濁)・及(平濁)二善(上濁)「薩・未來衆生(上
 156 新濁)・當云何(上濁)觀・无量壽(平濁)佛(入濁)・及(入濁)二善(上濁)薩・「佛(入
 157 告(平濁)章提(上濁)希・欲觀彼佛(入濁)者・當起想念・於七寶「地(平濁)
 158 上(平濁)・作蓮華(上濁)想・令其(上濁)蓮華(上濁)・一一葉・作百寶色・
 159 有八万四千脉・猶如天畫・脉有八万・四千光(上濁)了了分明・
 160 皆令得見・華葉小者・縱(去濁)廣二百五(平濁)「十(入濁)由旬(上濁)・
 161 如是(平濁)蓮華(上濁)・有八万四千葉・一一葉間・「各有百億・摩尼珠王
 162 以爲映飾(入新濁)・一一摩尼・放「千光・明・其(去濁)光如蓋・七寶合

- 195 (下)〔平濁〕・復〔平濁〕有〔三蓮華〕〔上新濁〕・諸蓮華〔上新濁〕上〔平濁〕・各有一佛〔入濁〕
- 196 ・二〔善〕〔上濁〕薩像〔平濁〕・遍滿彼國・此想成〔去濁〕時〔上濁〕・行〔平濁〕者〔平濁〕
- 197 當聞・水流光明・及〔入濁〕・諸寶樹〔平濁〕・兜馬〔平濁〕・皆說妙法
- 198 ・出定〔平濁〕入定〔平濁〕・恒〔去濁〕聞〔妙法〕・行者〔平濁〕所聞・出定〔平濁〕之
- 199 時〔上濁〕・憶持〔上濁〕不捨・令〔入濁〕・與修〔多羅合〕・若不合〔入濁〕者〔平濁〕・名爲
- 200 妄想・若有合〔入濁〕者・名爲〔鹿想〕・見極〔入濁〕樂世界是〔平濁〕爲像〔平濁〕
- 201 想・名第〔平濁〕八觀・作是〔平濁〕・觀者〔平濁〕・除〔去濁〕無量億劫・生
- 202 死〔平濁〕之罪〔平濁〕・於現〔平濁〕身中〔上新濁〕・得念〔佛〕〔入濁〕三昧・佛〔入濁〕告
- 204 〔平濁〕阿難・及〔入濁〕韋提〔上濁〕希・此想成〔去濁〕已・次當更觀・无〔量
- 205 壽〕〔平濁〕佛〔入濁〕・身相〔平濁〕光明・阿難當知〔上新濁〕・無量壽〔平濁〕佛〔入濁〕
- 206 六十〔万億〕・那由他・恒〔去濁〕河〔上濁〕沙由旬〔上濁〕・眉間白〔入濁〕毫〔去濁〕・
- 207 右旋婉〔卷〕・轉〔上新濁〕・如五〔平濁〕須彌山・佛〔入濁〕眼〔平濁〕如四大〔平濁〕海水・
- 208 青白〔入濁〕分明・身諸〔上新濁〕毛孔・演出〔入濁〕光明・如須彌山・彼佛
- 209 (入濁)圓光・如〔百億〕・三千〔上新濁〕大千世〔平濁〕界・於圓光中〔上新濁〕
- 210 ・有百〔万億〕・那〔由他〕・恒〔去濁〕河〔上濁〕沙化佛〔入濁〕・一〔化佛〕〔入濁〕
- 211 亦有衆多〔上新濁〕・無數〔化〕〔善〕〔上濁〕薩・以爲侍〔平濁〕者・无量壽〔平濁〕佛
- 212 (入濁)有八万四千相〔平濁〕・一〔相〕・各有八万四千・隨〔去濁〕形〔上濁〕好
- 213 ・一〔好〕復〔平濁〕有〔八万四千光〕〔上新濁〕明・一〔光〕明・遍照〔去濁〕十〔入濁〕
- 214 方世界・念〔佛〕衆生〔上新濁〕・攝取不捨・其〔去濁〕光明・明相好〔平濁〕及〔入濁〕
- 215 與化佛〔入濁〕不〔可具〕〔平濁〕說・但當〔上新濁〕憶想・令〔入濁〕眼〔平濁〕見・見此
- 216 事〔平濁〕者・即見〔十〕〔入濁〕方・一切諸佛〔入濁〕・以見諸佛〔入濁〕故・名念
- 217 佛〔入濁〕三昧・作〔是〕〔平濁〕觀者〔平濁〕・名觀一切佛〔入濁〕身・以觀
- 218 佛〔入濁〕身故・亦見佛〔入濁〕心・佛〔入濁〕心者〔平濁〕大慈悲是〔平濁〕以无
- 219 緣慈〔上濁〕攝諸衆生〔上新濁〕・作〔此觀者〕〔平濁〕・捨身他世・生諸佛〔入
- 220 濁〕前・得无生忍・是〔平濁〕故・智者・應當繫心・諦觀无量壽佛〔入
- 221 濁〕觀無量壽〔平濁〕佛〔入濁〕者・從〔去濁〕一相〔平濁〕好〔平濁〕入心・但觀
- 222 眉間白〔入濁〕毫〔去濁〕極〔入濁〕令明了・見〔眉間白〕〔入濁〕毫〔去濁〕者・八
- 223 万四千相好〔平濁〕・自然當現〔平濁〕見无〔量壽〕〔平濁〕佛〔入濁〕者・即見十
- 224 方・无量諸佛・得見無量諸〔佛〕〔入濁〕故・諸佛〔入濁〕現〔平濁〕前〔去濁〕授
- 225 記〔平濁〕是〔平濁〕爲遍觀・一切色身想〔平濁〕名第〔平濁〕九觀・作此
- 226 觀者〔平濁〕名爲正觀・若他觀〔平濁〕者〔平濁〕名爲那〔上濁〕觀・佛
- 227 (入濁)告〔平濁〕阿難〔平濁〕及〔入濁〕韋提〔上濁〕希・见无〔量壽〕〔平濁〕佛〔入濁〕了了
- 228 分明〔已〕次復〔平濁〕當觀・觀世〔平濁〕音〔善〕〔上濁〕薩・此善薩身・長〔上

229 壽・八十〔万億・那由他由旬〕・身紫〔上新壽〕金色〔入新壽〕・頂有肉髻
 230 項有〔圓光〕・面各百千由旬〔上壽〕・其圓光中〔上新壽〕・有五〔平壽〕百
 化佛〔入壽〕・如釋迦牟尼佛〔入壽〕・一化佛〔入壽〕・有五〔平壽〕百化佛〔上壽〕
 231 薩・无〔量〕諸天・以爲侍者・舉身光中〔上新壽〕・五〔平壽〕道〔平壽〕衆生
 〔上新壽〕・一切〔色相〕〔平新壽〕・皆於中現〔平壽〕・頂上〔平壽〕毗〔去壽〕楞伽〔上壽〕
 232 摩尼寶・以爲天冠〔上新壽〕・其天冠〔上新壽〕中〔上新壽〕・有一立化佛〔入壽〕・
 高二十〔入壽〕五〔上壽〕由旬〔上壽〕・觀世音菩薩〔上壽〕・面如閻浮提〔上新壽〕檀上
 233 遇金〔上新壽〕色眉間毫末相備〔平壽〕七寶色・流出八万四千種〔平新壽〕
 234 光明・一光・明・有无〔量〕無數・百千化佛〔入壽〕・一一化佛〔入壽〕
 235 无数化菩薩〔上壽〕・以爲侍者〔平壽〕者・變現〔平壽〕自在〔平壽〕・滿十方世界
 236 譬如紅蓮華〔色〕・有八十億光明・以爲瓔珞・其去壽瓔珞中〔上新壽〕・
 237 普現一切諸莊嚴〔上壽〕事〔平壽〕・手掌作五寶〔平壽〕百億・雜〔入壽〕蓮
 238 華〔上新壽〕色・手十〔入壽〕指端・一一指端・有八万四千畫・猶如印文・
 239 一一畫・有八万四千色〔入新壽〕・一一色・有八万四千光〔上新壽〕・其去壽光
 240 柔濡・普照一切・以此寶手・接引衆生〔上新壽〕・舉足時〔上壽〕足下〔平壽〕
 241 有千輻〔入新壽〕輪相〔平新壽〕・自然化成〔去壽〕・五〔平壽〕百億〔光〕明臺〔上
 242 壽〕・下〔平壽〕足時〔上壽〕・有金剛〔上壽〕摩尼華・布散一切・莫不彌滿・其

243 〔去壽〕餘身相〔平新壽〕・衆好具〔平壽〕足・如佛〔入壽〕无異・唯頂上〔平壽〕肉髻
 244 及〔入壽〕无見頂相・不及世尊・是爲觀世音菩薩〔上壽〕・眞實
 245 〔入壽〕色身相〔平壽〕・名第〔平壽〕十〔入壽〕觀世音菩薩〔入壽〕告〔平壽〕阿難・若有
 246 欲觀・觀世音菩薩〔上壽〕者・當作是觀・作是觀者〔平新壽〕不遇〔上壽〕
 247 諸禍・淨〔平壽〕除〔去壽〕業〔入壽〕障・除〔去壽〕無數劫・「生死之罪〔平壽〕・如
 248 此善〔上壽〕薩・但聞其去壽名・獲入壽无量福・何〔去壽〕「沉諦觀・若
 249 有欲觀・觀世音菩薩〔平新壽〕者・先去壽觀頂上〔平壽〕肉髻・次
 250 觀天冠〔上新壽〕・其〔去壽〕餘衆相・亦次第〔平壽〕觀之〔平新壽〕・亦令
 251 了・如觀掌中〔上新壽〕・作是金海觀者〔平新壽〕・名爲正觀〔平新壽〕・
 252 若他觀者〔平新壽〕・名爲邪觀・「次復〔平壽〕應觀・大勢至菩薩
 253 薩・此善〔上壽〕薩・身量大〔平壽〕小・亦如觀世音菩薩〔上壽〕・圓光面
 254 各百二十〔入壽〕五由旬〔上壽〕・照二百五十由旬〔上壽〕・舉身光明・照
 255 十方國作紫金色有緣衆生〔上新壽〕・皆悉得見・但見此善〔上壽〕薩・一
 256 毛孔光・卽見十〔入壽〕方・无量諸佛〔入壽〕・淨〔平壽〕妙光明・是〔平壽〕
 257 故号〔平〕此善〔上壽〕薩・名无边光〔上新壽〕・以智慧光・普照一切・令離
 258 三塗・得无上〔平壽〕力・是〔平壽〕故号此善〔上壽〕薩・名大〔平壽〕勢至・此
 259 善〔上壽〕薩天冠〔上壽〕・有五〔平壽〕百寶華・一一寶華・有五〔平壽〕百寶臺上

325 (平新濁)自(平濁)見(去新濁)坐(平濁)紫金(上濁)臺(上濁)合(入濁)掌(去新濁)又手(去新濁)讚歎(平新濁)諸

326 佛(入濁)如(平濁)一念頃(去新濁)即生彼國(去新濁)七寶池中(去新濁)此紫金臺(上濁)如大

327 (平濁)寶華(去新濁)經宿即開(平濁)行(平濁)者(平新濁)身(去新濁)紫磨金色(入新濁)足下

328 (平濁)亦有(去新濁)七寶蓮華(上濁)佛(入濁)及(入濁)菩薩(上濁)俱(上濁)俱(上濁)放光

329 明(入濁)照行(平濁)者(平新濁)身(去新濁)自(去新濁)即開明(去新濁)因前(上濁)宿習(去新濁)普聞(去新濁)衆(去新濁)

330 聲(去新濁)純(去新濁)去濁(去新濁)甚(平濁)深(平濁)第一(去新濁)義(平濁)諦(去新濁)即下(平濁)金(去新濁)臺(上濁)

331 禮(入濁)佛(入濁)合(入濁)掌(去新濁)讚歎(平新濁)世尊(去新濁)經(去新濁)於七日(去新濁)應時(上濁)即於(去新濁)

332 「阿耨多羅(去新濁)三藐(去新濁)三菩(上濁)提(上濁)得不退轉(去新濁)應時(上濁)即能(去新濁)飛

333 行(平濁)遍至(上濁)十(入濁)方(去新濁)歷事(平濁)諸佛(入濁)於諸佛(入濁)所(去新濁)修諸三(去新濁)

味(去新濁)經(去新濁)一小劫(去新濁)得无生忍(去新濁)現(平濁)前(去新濁)授(平濁)記(去新濁)是(平濁)名(去新濁)上

334 (平濁)品(平新濁)中生(上濁)者(上濁)品(平新濁)下(平濁)生者(平新濁)亦信因果

335 (平新濁)不謗大(平濁)乘(去新濁)但(去新濁)發(入新濁)无上(平濁)道(平濁)心(去新濁)以此功德入

336 新濁)廻向願(平濁)求(上濁)生極(入濁)樂國(去新濁)行(平濁)者(平新濁)命(去新濁)欲終去

337 濁)時(上濁)阿弥陀(上濁)佛(入濁)及(入濁)觀世(平新濁)音(去新濁)大(平濁)勢至(去新濁)

338 與諸眷屬(入新濁)持(去新濁)上濁)金蓮華(上濁)化作五(平濁)百化佛(入濁)來迎

此(平新濁)人(去新濁)五(平濁)百化佛(入濁)一時(上濁)授(平濁)手(去新濁)讚言(去新濁)法子

339 汝(去新濁)今(去新濁)清淨(平濁)發(去新濁)无上(平濁)道(去新濁)心(去新濁)我(去新濁)來(去新濁)迎(去新濁)汝(去新濁)見(去新濁)此(去新濁)事(去新濁)

340 濁)時(上濁)即自(平濁)見身(去新濁)坐(平濁)金蓮華(上濁)已(去新濁)華合(入

341 濁)隨(去新濁)世尊(去新濁)後(去新濁)即得往生(去新濁)七(去新濁)寶池中(去新濁)一日一夜(去新濁)蓮華

342 (上濁)乃開(去新濁)七日之中(去新濁)乃得(去新濁)見佛(入濁)雖見佛身(去新濁)於衆相好(平新濁)心

343 不上新濁)明了(去新濁)於三七(去新濁)日後(去新濁)乃了了見(去新濁)聞衆(上濁)音聲(上濁)皆演

344 妙法(去新濁)遊歷(去新濁)十(入濁)方(去新濁)供養諸佛(入濁)於諸佛(入濁)前(去新濁)聞甚(去新濁)

345 濁)深(去新濁)法(入新濁)經(三小(平新濁)劫(去新濁)得(去新濁)百法明門(去新濁)住(平濁)歡(去新濁)喜

346 (平新濁)地(平濁)是(平濁)名(上濁)上品(平新濁)下(平濁)生者(平新濁)是(平濁)名(去新濁)

347 上(平濁)輩(去新濁)生(去新濁)想(去新濁)名(去新濁)第(平濁)十(入濁)四(去新濁)觀(去新濁)佛(入濁)告(平濁)阿難(去新濁)及(入

348 濁)羣(去新濁)提(上濁)希(去新濁)中(去新濁)品(平新濁)上(平濁)生者(平新濁)若(去新濁)有(去新濁)衆(去新濁)生(去新濁)受(平

349 (入濁)无(去新濁)衆(去新濁)過(去新濁)患(平濁)以此善(平濁)根(去新濁)廻向願(平濁)求(上濁)生

350 於西方(去新濁)極(入濁)樂(去新濁)世界(去新濁)臨(去新濁)命(去新濁)終(去新濁)時(上濁)阿弥陀(上濁)佛(入濁)

351 與諸比丘(去新濁)眷屬(入濁)圍(去新濁)遶(去新濁)放(去新濁)金色(入新濁)光(去新濁)至(其(上濁)人(去新濁)所(平

352 新濁)演說(入新濁)苦(去新濁)空(去新濁)无(去新濁)常(上濁)无(去新濁)我(平濁)誑(去新濁)歎(平新濁)出(去新濁)家(去新濁)得(去新濁)離(去新濁)衆(去新濁)苦

353 行(平濁)者(平新濁)見(去新濁)已(去新濁)心(去新濁)大(平濁)歡(去新濁)喜(平新濁)自(平濁)見(去新濁)已(去新濁)身(去新濁)

354 (平濁)蓮華(上濁)臺(上濁)長(去新濁)跪(入濁)合(入濁)掌(去新濁)爲(去新濁)佛(入濁)作(去新濁)禮(去新濁)未(去新濁)學(去新濁)頭(上濁)

355 頃(去新濁)即(去新濁)得(去新濁)往(去新濁)生(去新濁)極(入濁)樂(去新濁)世界(去新濁)蓮華(上濁)尋(去新濁)尋(去新濁)開(去新濁)當(去新濁)華(去新濁)敷(去新濁)時(上

聞衆(平新)上(新)音聲(上)讚歎(平)四諦(應)時(上)即得(阿羅漢道)

三(明)六(通)具(入)八(解)脫(入)是(名)中(品)名(中)品(平新)

上(上)生(者)中(中)品(中)品(平新)中生(上)新(若)有(衆)生(上)新

若(一)日(一)夜(受)持(上)八(戒)齊(若)一(日)一(夜)持(上)沙(弥)戒

若(一)日(一)夜(持)具(平)足(戒)威(儀)上(無)缺(以)此(功)德(入)新

廻(向)願(求)上(生)極(入)樂(國)戒(香)薰(修)上(如)此(行)平

者(平)命(欲)終(時)上(見)阿(弥)陀(佛)入(與)諸(眷)屬(入)

放(金)色(光)持(去)七(寶)蓮(華)上(至)行(平)者(平)前(去)行(平)

善(人)隨(去)順(三)世(新)諸(佛)入(教)故(我)來(迎)汝

行(者)平(自)見(坐)蓮(華)上(蓮)華(上)即(合)入

生(於)西(方)極(入)樂(世)界(在)池(中)經(於)七(日)蓮(華)上

乃(敷)華(既)數(已)開(目)合(入)掌(讚)數(世)尊(聞)法(入)歡

喜(得)須(陀)上(經)半(劫)入(成)阿(羅)漢(是)名(成)

中(品)平(中)生(上)中(品)平(下)生(者)若(有)善(男)

子(平)善(女)人(孝)養(父)母(行)世(仁)慈(上)此(平)人(命)

欲(終)時(遇)善(知)上(識)為(其)廣(說)阿(弥)陀(佛)

國(土)平(樂)事(亦)說(法)藏(平)比(丘)四(十)八(願)平

聞(此)事(平)尋(即)入(命)終(去)譬(如)壯(士)屈

伸(臂)頃(即)生(西)方(極)樂(世)界(生)經(七)日(遇)觀

世(平)音(及)入(大)勢(至)聞(法)入(歡)喜(經)一(小)劫

成(阿)羅(漢)是(名)中(品)平(下)生(者)平(是)名(中)

輩(生)想(名)第(十)五(上)觀(佛)入(告)阿(難)及(入)

韋(提)上(希)下(品)上(生)者(平)或(有)衆(生)上(作)衆(惡)業

雖(不)誹(謗)方(等)平(經)典(平)如(此)愚(人)多(造)上(衆)

惡(無)有(慙)愧(平)命(欲)終(時)上(遇)善(知)上(新)

識(為)讚(大)乘(去)十(入)二(部)平(經)首(題)名(字)平(平)

以(聞)如(是)諸(經)名(故)除(去)却(千)劫(入)極(入)重(惡)

業(入)智(者)復(教)合(入)掌(叉)手(稱)南(無)阿(弥)陀(佛)入

稱(佛)入(名)故(除)去(五)平(十)入(億)劫(生)死(平)之(罪)

余(時)上(彼)佛(入)即(遣)化(佛)入(化)觀(世)音(化)大(平)

勢(至)至(行)者(平)前(去)讚(言)善(男)子(平)汝(稱)佛

名(故)諸(罪)平(消)滅(我)來(迎)汝(作)是(平)語(已)行

者(平)即(見)化(佛)入(光)明(遍)滿(其)室)見(已)歡(喜)新

415 勢至・以大平濁悲音聲(上新濁)・爲其上濁廣設(入新濁)・諸法「實(入濁)相(入濁)除(去濁)滅罪平濁法」・聞曰歡喜(平新濁)・應(平新濁)時(上濁)即發(去濁)善(上濁)提(上濁)之「心・是平濁」名下(平濁)品下(平濁)生者(平新濁)・是(平濁)名下(平濁)輩

416 之「心・是平濁」名下(平濁)品下(平濁)生者(平新濁)・是(平濁)名下(平濁)輩

417 生想・名第(上濁)十(入濁)「六觀」・「說是(平濁)語時(上濁)・章提(上濁)希

418 與五(平濁)百侍(平濁)女・聞佛(入濁)所說(上濁)應「時(上濁)即見(極入濁)樂

419 世界・廣長(去濁)之相・得見佛(入濁)身・及(入濁)二(上濁)苦(上濁)薩(上濁)心生上

420 新濁歡(上喜平新濁)・欺未曾(去濁)有・廓然大(平濁)悟(平濁)・得无生「忍

421 五(平濁)百侍(平濁)女・發阿耨多羅三藐三善(上濁)提(上濁)心・願(平濁)「

422 生(去新濁)彼國・世尊悉記・皆當往生(去新濁)生彼國已・得諸「佛(入濁)現

423 平濁前(去濁)三(上新濁)昧(去濁)无量諸天・發无上(平濁)道(平濁)心・「尔時(上濁)

424 阿難・即從(去濁)座(平濁)起・前(去濁)白(入濁)佛(入濁)言(去濁)世尊・當何(上濁)

425 名「此經・此法之要・當云何(上濁)受(平濁)持(上濁)・佛(入濁)告(平濁)阿難・

426 此經「名・觀極(入濁)樂國土・无量壽(平濁)佛(入濁)・觀世(平新濁)音

427 善(上濁)薩(去濁)大(平濁)勢(至善(上濁)薩(上濁)亦名淨(平濁)除(去濁)業(入濁)障

428 生 諸佛(入濁)前(去濁)・汝當受(平濁)持(上濁)・「无令(去濁)忘失(平濁)行(平濁)此

429 三昧者・現(平濁)身(去新濁)得見(去新濁)无量壽(平濁)佛(入濁)・「及(入濁)二大(平濁)

士(平濁)・若善(平濁)男子(平新濁)・善(平濁)女人(去新濁)但聞佛(入濁)名・二善(上濁)

430 「薩名・除(去濁)无量劫・生死(平新濁)之罪(平濁)・何(去濁)況(平濁)憶念・若

431 念佛(入濁)者・當知(上新濁)此(平新濁)人・是(平濁)人中(上新濁)分陀(去濁)利華・

432 觀世(平新濁)音善(上濁)薩・「大平濁勢至善(上濁)薩・爲其上濁勝友・當

433 坐(平濁)道場(去濁)・生諸佛(入濁)家・「佛(入濁)告(平濁)阿難・汝好持(上濁)

434 是(平濁)語(平濁)・持(去濁)是(平濁)語(平濁)者・即是(平濁)持(去濁)无「量壽佛

435 (入濁)名・佛(入濁)說此語時(上濁)尊者(平新濁)目捷連・阿難及(入濁)「章提(上

436 希等・聞佛(入濁)所說・皆大(平濁)歡喜(平新濁)・「尔時(上濁)世尊・足步

437 虛空・還(去濁)者(上濁)闍崛山・尔時(上濁)阿難・「廣爲大(平濁)衆・說

438 如上(平濁)事・无量諸天・及(入濁)龍夜叉・聞「佛(入濁)所說・皆大(平濁)

歡喜(平新濁)・禮佛(入濁)而退・

439 「佛(入濁)說觀無量壽(平濁)經

龍門文庫

(朱印)

興福院光心大姉

△翻刻注▽

- (1) 「シヤウ」の「ヤ」は、「ヨ」擦り消しの上に重ね書き。
- (2) 「サ」擦り消し。
- (3) 「タイ」擦り消し。
- (4) 「シヤウ」の「ヤ」は、「ヨ」擦り消しの上に重ね書き。
- (5) 「ヲク」の「ク」は、「チ」擦り消しの上に重ね書き。
- (6) 「ミヤク」の「ミ」は、「シ」擦り消しの上に重ね書き。
- (7) 「モク」の「ク」は、「チ」擦り消しの上に重ね書き。
- (8) 「ホム」の「ム」は、「ン」擦り消しの上に重ね書き。
- (9) 「シム」は、「ホウ」擦り消しの上に重ね書き。
- (10) 「ソク」は、「クエン」擦り消しの上に重ね書き。
- (11) 「ウキ」は、「ソク」擦り消しの上に重ね書き。
- (12) 「シヤ」の下に「ウ」を擦り消す。
- (13) 「興福院光心大姉」は、江戸時代の墨筆。

(受理 平成二年十月五日)

Abstract

A Reprint of the *Kanmuryoju-kyo* from
the *Ryumon* Library Collection

Isamu SASAKI

(Department of Japanese Literature)

This is a reprint of the *Kanmuryoju-kyo* taken from the original found in the *Ryumon* Library Collection. The *kana* and accent marks which are inscribed together with the *kanji* appearing in the *Kanmuryoju-kyo* indicate their pronunciation at the beginning of the *Kamakura* era.

The *Kanmuryoju-kyo* is one of the three Buddhist scriptures called *Jodo Sanbu-kyo*. One of the other two is the *Amida-kyo*, whose reprint has already been featured in *Bulletin of Hijiyama Women's Junior College* No. 24 (1990).

(Received October 5, 1990)